



日本証券アナリスト協会
個人投資家向け会社説明会

2025年3月6日(木)
株式会社東京衡機 (東証コード 7719)
代表取締役社長 小塚 英一郎

1. 東京衡機グループは何をやっている会社？

安全と安心を裏方で支えている仕事をしています

1-1. 安全と安心を支える技術

エンジニアリング事業 ～株式会社東京衡機エンジニアリング～

安全性を求めて 振動や衝撃に負けない「ゆるまないナット」

輸送機器や鉄道、高速道路、橋などに使われるボルトやナットは、振動や衝撃で少しずつ緩み、思わぬ事故につながる可能性があります。
そうした問題を防ぐため、通常は「ナットを2つ重ねる」「ゆるみ止め剤を使う」などの対策が行われています。

当社の製品の特徴

当社の「ゆるまないナット」は、特殊なスプリング構造によって1つのナットだけで緩み止めを可能にした製品です。



株式会社東京衡機エンジニアリング



1-2. 製品のしくみ

“逆方向に回そうとすると、ますます締まる”

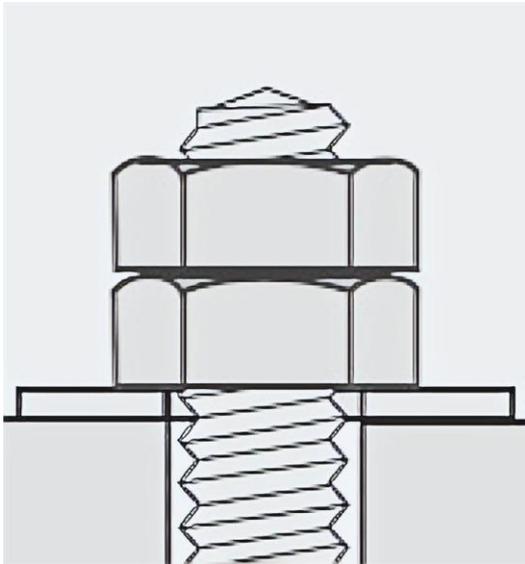
- イメージしやすい例として「スプリングの輪がボルトの溝に巻き付いている」ような構造です。
- 締める方向に力を加えるとすんなり動くのに、逆方向に引っ張るとむしろ締まって抜けなくなる。
- 当社のナットは、ボルトを緩めようとする（逆方向に回す）力が加わるほど、内側にあるスプリングの径が小さくなるようにするため、ボルトの溝を更に“ぎゅっ”とつかむ仕組みになっています。



1-3. 競合製品との違い

従来：ナットを2つ使う方法

- ボルトにナットを2つ重ねて“ネジ山”を噛み合わせることで緩みにくくする。
- ただし部品点数が多くなり、施工手間が増えるほか、スペースも必要。



当社のナット

- ナットは一つだけ。内部のスプリングがボルトに巻き付く仕組みなので、二重ナットを使うよりも、施工時間大幅短縮
- 熟練技術は必要なく、一般工具で「締める」作業だけでOK。



1-4. 投資価値・将来性

- **幅広い分野で需要拡大が期待：**

現在の主な用途は、電力インフラや大型建築物、木造戸建て住宅、高速道路、鉄道など多岐にわたり、今後の需要拡大が期待できます。

- **継続的な需要：**

安全性への意識が高まるほど、ボルトとナットを使うさまざまな現場で活用される余地が広がり、継続的な需要が見込まれます。

- **差別化された技術：**

「逆方向に回すほど締まる」独自の発想とスプリング構造による差別化で、安心、安全な社会インフラを支えます。

1-5. エンジニアリング事業中期計画

中期経営計画（エンジニアリング事業）

(百万円)	2026/2月期計画	2027/2月期計画
売上高	639	1,008
売上原価	390	628
粗利	249	380
販管費	202	208
営業利益	47	172

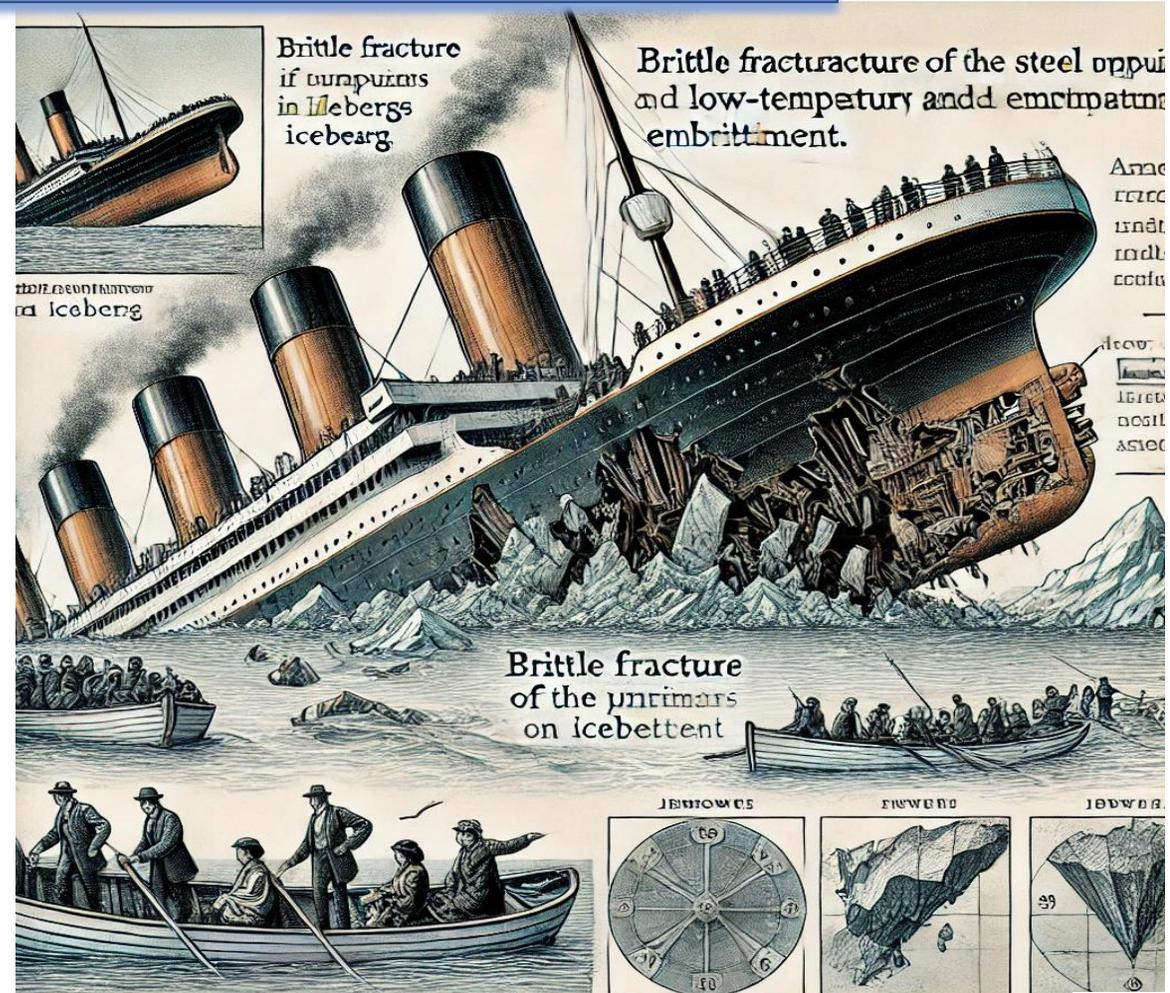
2-1. 安全と安心を支える技術

試験機事業 ～株式会社東京衡機試験機～

試験機業界は、私たちの社会の安全性を確保するために欠かせない存在です。

試験機の歴史は、事故の歴史と密接に結びついています。

鉄道、船舶、航空機などの大規模な事故を教訓に、より安全な設計・製造のための試験技術が進化してきました。



2-2. 試験機業界の主な分類

材料試験

強度試験

耐性試験

破壊試験

動力系試験

エンジン試験

電動モーター
試験

耐久試験

環境試験

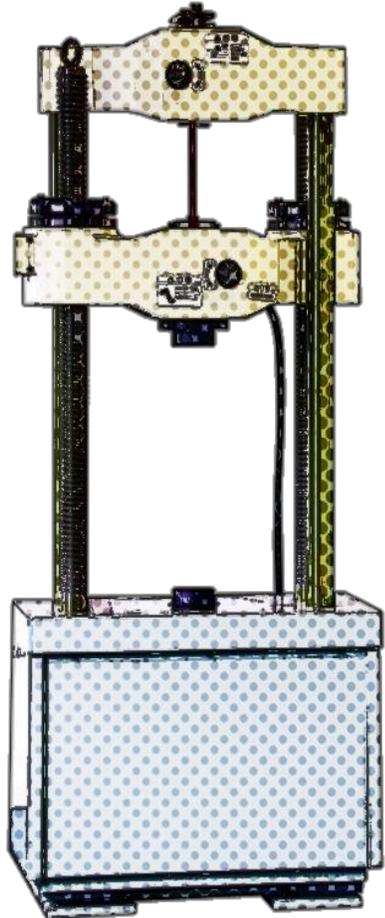
温度試験

湿度・塩水噴
射試験

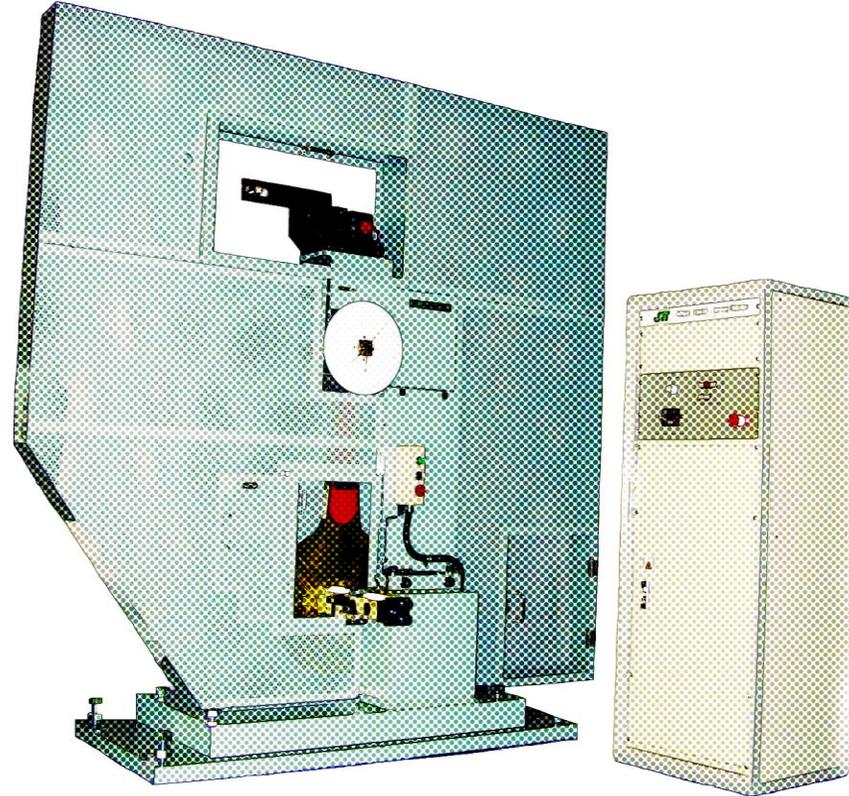
振動試験

2-3. 材料試験機

油圧万能試験機



衝撃試験機



主要販売先
(あいうえお順)

- ◆ 川崎重工グループ
 - ◆ クボタグループ
 - ◆ コマツグループ
 - ◆ JFEグループ
 - ◆ 日本製鉄グループ
 - ◆ 三菱重工グループ
 - ◆ 三菱ふそうトラック・バス
 - ◆ ヤンマーグループ
-
- ◆ 自動車会社各社
 - ◆ 建設会社各社
 - ◆ 公的機関



東京衡機試験機



2-4. 投資価値・将来性

試験機業界は、技術革新とともに成長を続けています。

- **安全ニーズは普遍的：**
インフラや乗り物がある限り、安全性を確認するための試験は欠かせません。
安定需要が期待できる分野です。
- **エネルギー需要の増大：**
原子力発電、風力・太陽光発電等、発電設備の試験機ニーズが増加
- **拡大する研究開発投資：**
環境対応や新素材の開発など、各業界は試作・検証を強化しており、その潮流の中で、試験機のニーズも高まっています。

2-5. 試験機事業中期計画

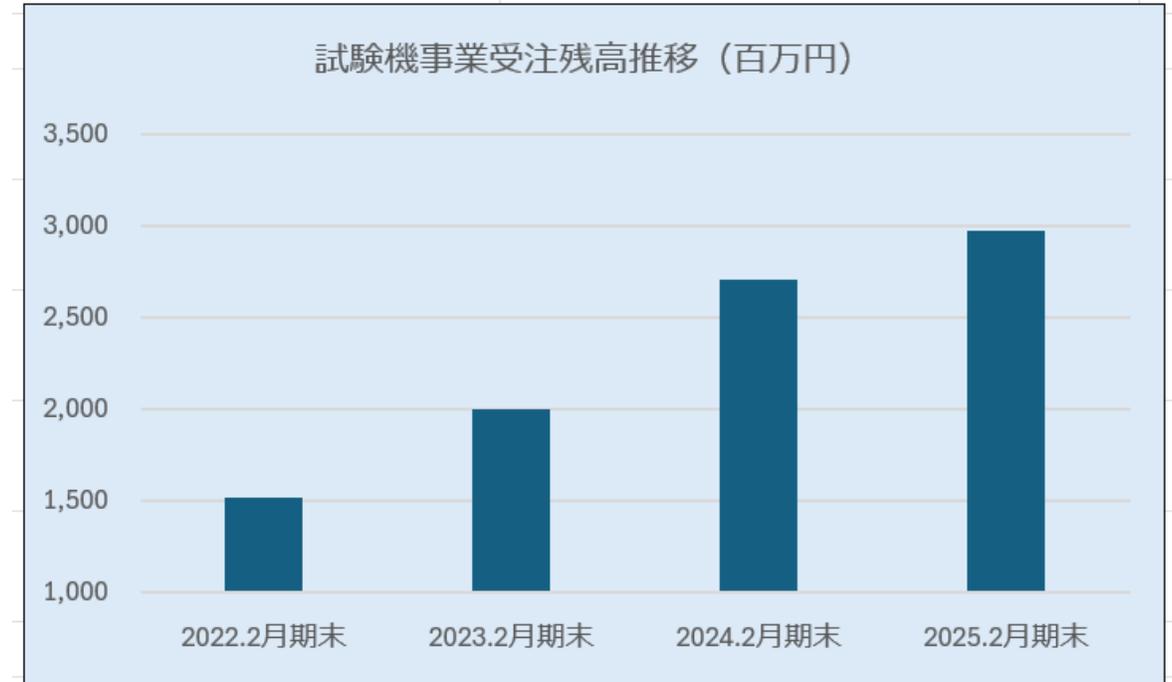
中期経営計画（試験機事業）

(百万円)	2026/2月期計画	2027/2月期計画
売上高	3,470	3,670
売上原価	2,363	2,468
粗利	1,107	1,202
販管費	931	907
営業利益	176	295

2-6. 試験機事業受注残推移

期末受注残は過去最高となる見込みです

試験機事業受注残推移（百万円）	
2022.2月期末	1,518
2023.2月期末	2,002
2024.2月期末	2,701
2025.2月期末	2,974



* 2025.2月期末の受注残は集計中であり、修正の可能性が有ります

3-1. 安全と安心を支える技術

デジタル・CAE事業 ～株式会社先端力学シミュレーション研究所（ASTOM）～

2026年2月期より東京衡機51%連結子会社（予定）

理開発ベンチャー

東京衡機の「試験機」とASTOMの「CAEソフトウェア」の融合 = デジタルツイン解析技術を駆使し、ものづくりに必要不可欠な開発・設計・評価におけるソリューションを提供します。

<デジタルツイン>

現実空間上で収集した情報に基づき、仮想空間上で事象（環境、場所、生物、資産、システム、デバイス等）を再現するデジタル複製技術のことです。

<デジタルツイン解析技術>

再現された仮想事象上で現実空間から得られた情報に基づき様々なシミュレーションを行う事で、より精度の高い多面的な分析が可能となり、現実にも即した効果的な課題解決が可能となります。

<高精度なシミュレーション技術>

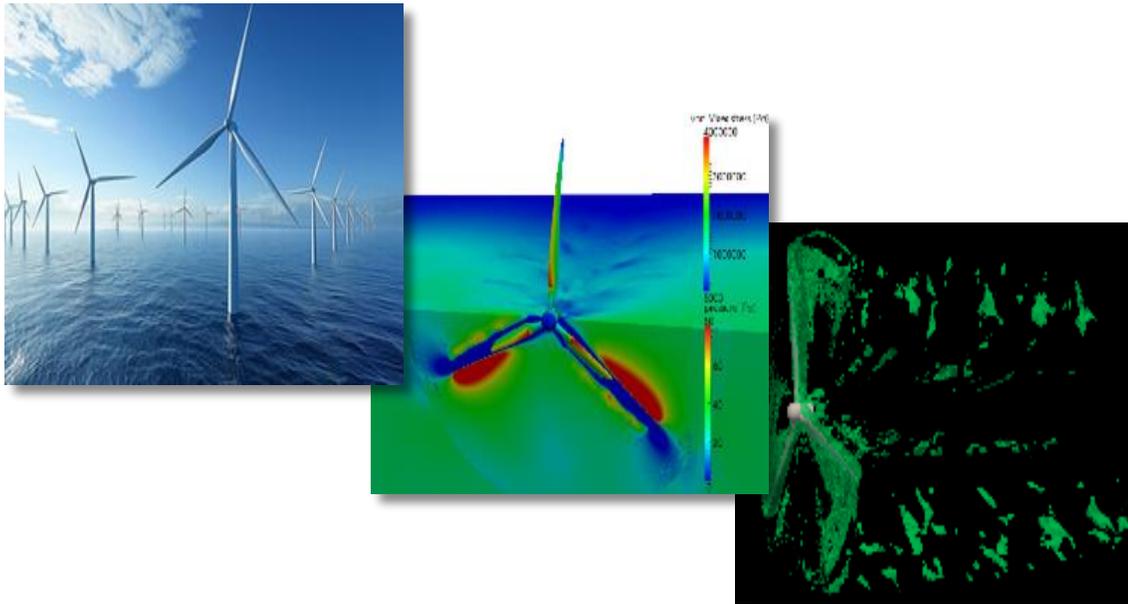
試験機で収集した情報データに基づき、ASTOMがCAEソフトウェアによる高精度なシミュレーションをより実現します。

* CAE = Computer Aided Engineering（コンピュータによる工学支援）

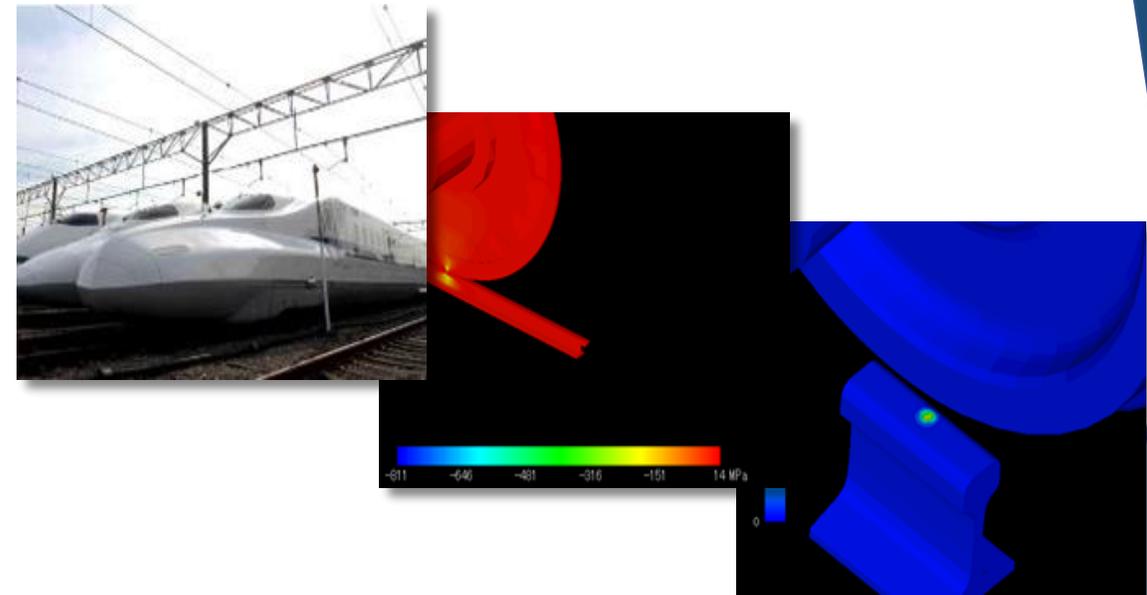
3-2. CAEの役割

構造解析・流体解析・マルチフィジックス解析（熱/電磁場/化学/音響/光学）・半導体信頼性解析・原子力安全解析等

<風力発電用風車の流体-構造連成解析>



<新幹線の車輪の転がり接触解析>



3-3. ハードとソフトの融合



3-4. 投資価値・将来性

CAEは、モノ作りのDX化とともに、需要が増加します

- **開発効率とコスト削減：**

実際に試作品を多数作り、破壊試験を繰り返す前にコンピュータ上でシミュレーションを行えます。
⇒ 製品開発期間を大幅に短縮し、試作品の製造コストや材料の浪費を削減できます。

- **高精度なデジタル評価のニーズ拡大：**

CAEは複雑な物理現象を高精度で再現・予測できるため、エネルギーや自動車などの安全性が重視される分野だけでなく、医療・航空宇宙・材料研究など幅広い分野で活用される可能性が広がっています。

- **データ連携・AI技術との融合による付加価値創出：**

試験機から得られる実験データとCAEのシミュレーションデータを一括で管理・分析することで、AIを活用した高度な予測モデルの構築や、最適設計の自動化が可能になります。

3-5. CAE事業過去実績

CAE事業過去実績			
(百万円)	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期
売上高	688	762	703
営業利益	34	101	113
経常利益	30	98	113
当期純利益	23	45	58

4-1. 東京衡機グループの差別化戦略

試験機業界のデジタル化の先駆者

東京衡機グループは、試験機＝ハードウェアとデジタル技術（CAE・データ管理）を融合させ、より効率的かつ高度な試験ソリューションを提供する体制を構築します。この統合プラットフォームにより、

- 試験データのリアルタイム管理・分析が可能になり、
- シミュレーションと実試験の統合による開発スピードの向上、
- 製品の品質保証とトレーサビリティの強化が実現されます。

東京衡機グループは、これらの技術革新を通じて、試験機業界におけるデジタル化の先駆者となることを目指しています。

5. 業績面

- 2027/2期計画の必達を目指す -

✓ **2024年2月27日公表の「中期経営計画」の最終年度となる2027/2月期計画の必達を目指します**

✓ 2024年11月22日に特別注意銘柄の指定解除

✓ 「不適切会計」「不正取引」の対応を終え正常化したものの
2025/2月期は管理体制強化に伴う販管費増加により計画は未達

✓ 今後の健全な経営に必要な体制整備・投資を終え、
2026/2期中に中期経営計画で描いた成長速度を追い越し、
2027/2期の計画必達を目指します

✓ 早期の配当開始を目指します

✓ 日本取引所の上場維持基準（流通株式時価総額10億円以上）に適切に対応します

✓ CAE事業・株式会社先端力学シミュレーション研究所の業績見込みは含まれていません。
本年6月を目途に、同社の業績見込みを反映した中期経営計画修正版をリリースする予定です。

中期経営計画最終年度 2027/2月期計画 (百万円)	
売上高	4,702
売上原価	3,130
粗利	1,572
販管費	1,079
営業利益	493

スピーカー紹介

小塚 英一郎（こづか えいいちろう）

所属・役職： 株式会社東京衡機（東証スタンダード7719）代表取締役社長
1964年3月9日、広島県広島市生まれ 1987年4月、株式会社富士銀行入行

1982年3月、広島市立基町高等学校卒業

1987年3月、中央大学法学部卒業



2025/1/30

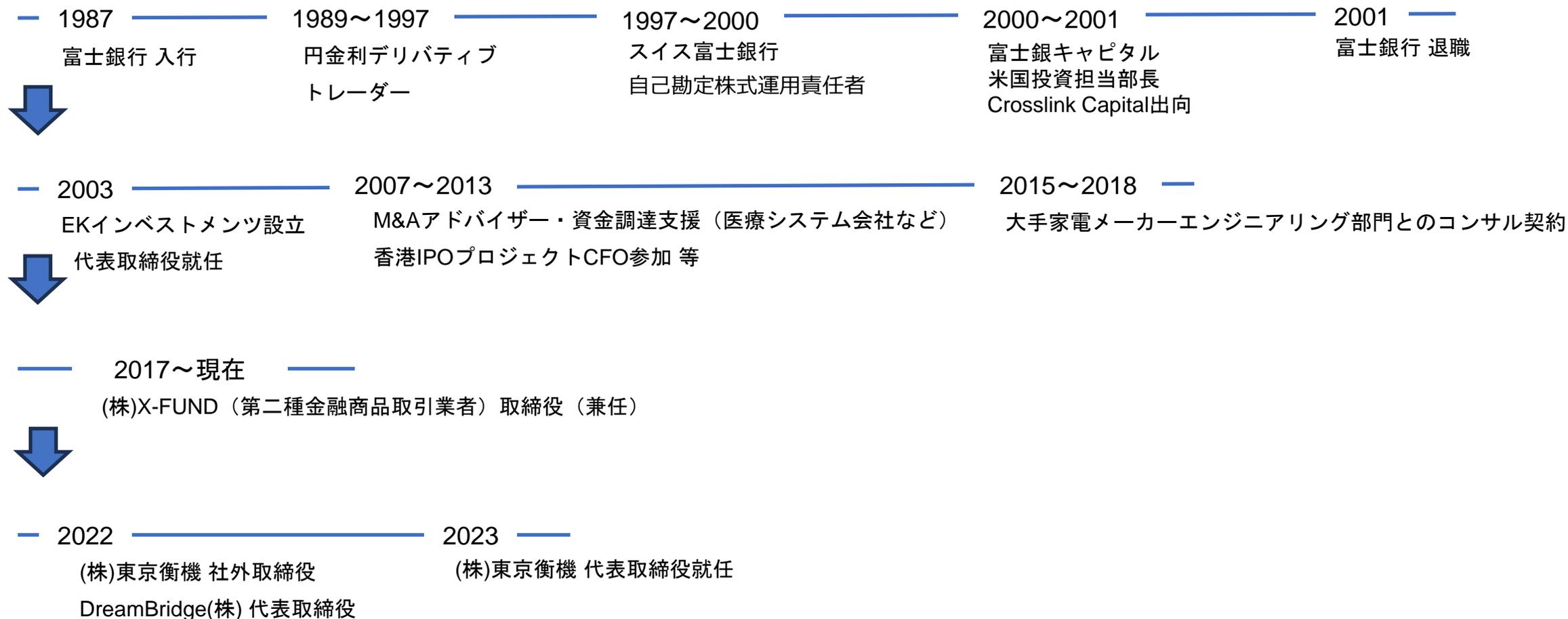


21

職歴

ダイジェスト

銀行出身／デリバティブトレーダー／
VC・M&A／上場企業経営



自分の意見・見解を発信中

毎週月曜14:00 コラムをアップしています

<https://kozuka.blog>